

消灯だけでは無理がある！ スーパーマーケットの節電対策！

東日本大震災による電力供給の停止・不安定化により、昨年は電力の使用制限が発令され、節電の意識が高まり、15%の節電目標は達成されました。しかし、原子力発電所の停止に伴い、今年の夏は更に厳しい対応が迫られるでしょう。

1 食品スーパーマーケットのエネルギー消費量の現状

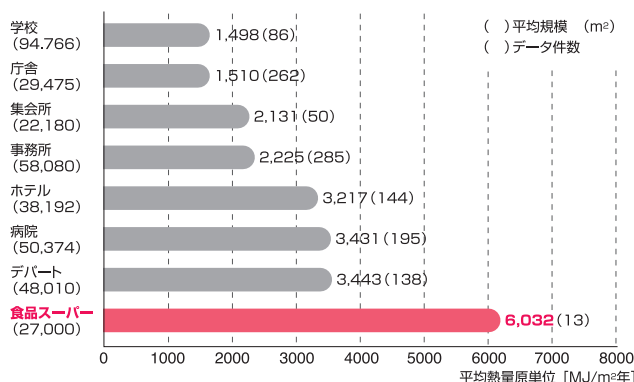
エネルギー消費量が多い

店舗全体のエネルギー消費量

- 使用電力量 [売場照明・バックヤード・ショーケース・売場空調・冷凍機 その他]
- ガス・水道

エネルギー消費量の現状

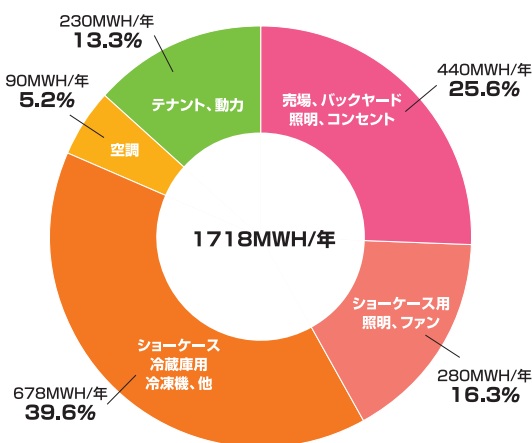
[実測値と消費原単位データベースとの比較] (電気・ガス)



(出典) (財)省エネルギーセンター 平成18年度版業務用ビルにおける省エネ推進のてびき

売場面積1500m²規模食品スーパーマーケット (SM) の電力消費量

一般的SM (2800~3000m²) における消費電力量と割合



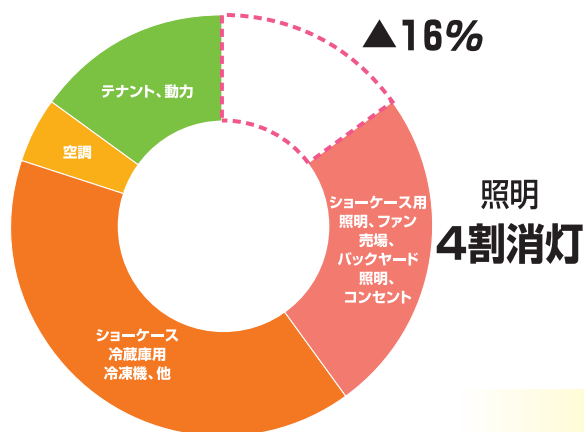
冷凍・冷蔵設備による消費電力が最も多い。全体の約40%を占めている。

2 節電の手法として照明の消灯で対応すると、15%の削減を実現するためには約40%の消灯が必要となる。

冷蔵設備も含めた対応で無理なく節電できます。

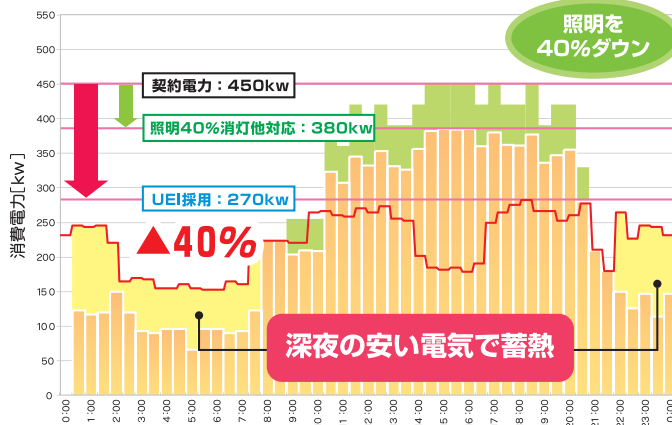
スーパーマーケットの消費電力

一般的SM (2800~3000m²) における消費電力量と割合



消灯だけでは無理がある！

店舗照明を40%節電+ウルトラ エコ・アイス採用



省エネ(消灯)と蓄熱の相乗効果でムリ無く節電！